



長岡京市第5次地域福祉活動計画
～つながりぎゅっとプラン～
令和8年度～令和12年度

つながりぎゅっとプランと4つのアイコン

本計画の愛称は「つながりぎゅっとプラン」です。この愛称には、住民の皆さんの主体的な福祉活動の重要性や可能性が「ぎゅっと」詰まっています。そうした活動の方向性を示したものが4つのアイコンです。このアイコンは第4次地域福祉活動計画から継続している目標を、よりイメージしやすい音に例えて表現しています。様々な世代に対する理解促進と主体的な参加につなげます。

アイコン	目標	イメージ
	活動人口・関係人口を増やそう	ぐんぐん広がる ぐんっと頼れる ぐんと増える
	居ごこちのよい場所を増やそう	ぽかぽかあたたかい ぽかぽか居場所 ぽかぽか安心
	未来の担い手を育てよう	によきによき伸びる によきによき芽生える
	つながりの輪をつくろう	ぎゅっと繋がる ぎゅっと結ぶ ぎゅっと伝わる



社会福祉法人
長岡京市社会福祉協議会
会長 小野 洋史

未曾有の災害とも言えたコロナ禍を経て、日常を取り戻したかのように感じる今日この頃ですが、この間に失われた地域の繋がりを取り戻すことは一朝一夕ではできません。

一方で、コロナ禍だからこそそのつながりを求める子どもや若者を中心とした、新しい「福祉」の地域づくりが芽吹き、若い活動者が少しずつ活動を始めた数年間でもありました。

本会の地域福祉活動計画も第5次計画を策定するにあたり、これまで活動されていたボランティア団体などをはじめ、たくさんの皆さんとお知り合いの方々に住民懇談会に参加いただき、コロナ禍後の「福祉の」地域づくりについて、また、生活課題との向きあい方について、5年後はどんな姿になりたいかを話し合っていました。ご協力いただきましたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

縁あって、長岡京市の地に住んでいる人全員が、自分自身を大切に、人からも大切にされるころ豊かで住みよいまちになる様、市民の皆様とともに邁進してまいります。



長岡京市地域福祉活動計画推進委員会
委員長 永田 祐

長岡京市第5次地域福祉活動計画の策定にあたり、委員長として一言ご挨拶申し上げます。

私たちの暮らす地域は、少子高齢化や家族形態の変化、孤立や貧困など、これまで以上に複雑な課題に直面しています。こうした課題は、行政や専門機関だけで解決できるものではありません。地域に暮らす一人ひとりが「自分ごと」として関わり、支え合う仕組みをつくることが求められています。そのために、住民主体の活動を広げることが、この計画の根幹です。

本計画では、基本理念として「一人ひとりが大切にされ、人と地域がつながる福祉のまちづくり～だれかの課題はみんなの課題～」を掲げました。この理念のもと、4つの合言葉を合意し、誰もができることから始められる取り組みを示しています。地域で活動する人を増やし、居心地のよい場所を広げ、未来の担い手を育て、つながりの輪をつくる――これらは、長岡京市が目指す「地域共生社会」への道しるべです。

社会福祉協議会の役割は、こうした住民主体の動きを応援し、つなぎ、広げることです。計画の推進にあたっては、行政や関係団体との連携を深めながら、地域の声を聴き、活動を支える仕組みを整えていくことが重要です。コロナ禍で失われたつながりを取り戻し、新しい形の交流や支え合いを育むことも重要です。

この計画は、社会福祉協議会の計画ではなく、市民と社会福祉協議会の「活動」計画です。地域に暮らす皆さんと社協が協働しながら、一歩ずつ進めていくものです。小さな取り組みが積み重なり、誰もが安心して暮らせるまちを実現していくことを願っています。

最後に、策定にご協力いただいた委員の皆様、住民の皆様、関係機関に心より感謝申し上げます。

目次

第1章 計画の概要

- 1.地域福祉活動計画と基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・ P.05
- 2.計画の位置づけと期間、進行管理・・・・・・・・ P.06
- 3.第4次地域福祉活動計画の分析と評価・・・・・・・・ P.07

第2章 計画がめざすもの

- 1.計画の体系図・・・・・・・・・・・・・・・・ P.08
 - 活動人口・関係人口を増やそう・・・・・・・・ P.09
 - 居こちのよい場所を増やそう・・・・・・・・ P.10
 - 未来の担い手を育てよう・・・・・・・・ P.11
 - つながりの輪をつくろう・・・・・・・・ P.12

第3章 計画を推進していくために

- 1.計画を推進していくための取り組み・・・・・・・・ P.13
- 2.対話シート・・・・・・・・ P.14
- 3.社会福祉協議会の役割・・・・・・・・ P.15
- 4.計画を推進する基盤強化・・・・・・・・ P.16
- 5.計画策定の体制と地域福祉活動計画推進委員会について・・・ P.17

資料編

- 1.数字で見る長岡京市の地域福祉・・・・・・・・ P.18
- 2.住民の対話ワークショップの報告・・・・・・・・ P.18

1.地域福祉活動計画と基本理念

地域福祉活動計画ってな～に？

「みんなが安心して楽しくらせる地域にするには、どんなことが必要なのか？」ということ、長岡京市に住む地域の人たちや、ボランティア、福祉のしごとをしている人たちと自分のことのように考え、その原因をみつけだし、問題解決のためにやることを決めるための計画のことです。

基本理念

一人ひとりが大切にされ、人と地域がつながる

福祉のまちづくり

～だれかの課題はみんなの課題～



基本理念を解説！

【一人ひとりが大切にされ】

人は生まれながらに皆平等であり、かけがえのない存在です。差別や偏見のない地域社会を目指すとともに、一人ひとりが皆違った素晴らしさを秘めているという個人の可能性を尊重します。

【人と地域がつながる】

地域で暮らす一人ひとりの市民や団体、福祉関係機関等が、お互いの考えを理解・尊重し地域のことをみんなで考え行動していける関係づくりを推進します。

【だれかの課題はみんなの課題】

身近な人だけでなく、同じ地域で暮らす“だれか”の課題も、自分たちの問題として、地域全体で支えあえることがあたりまえになる福祉のまちづくりをめざします。

2.計画の位置づけと期間、進行管理

[本計画の位置づけ]

本計画は、長岡京市が社会福祉法第107条に定められた市町村地域福祉計画として策定する「長岡京市第2次地域健康福祉(後期)計画」と連携し、整合性を図りながら、地域福祉に関する取り組みをより効果的に推進するための計画とします。

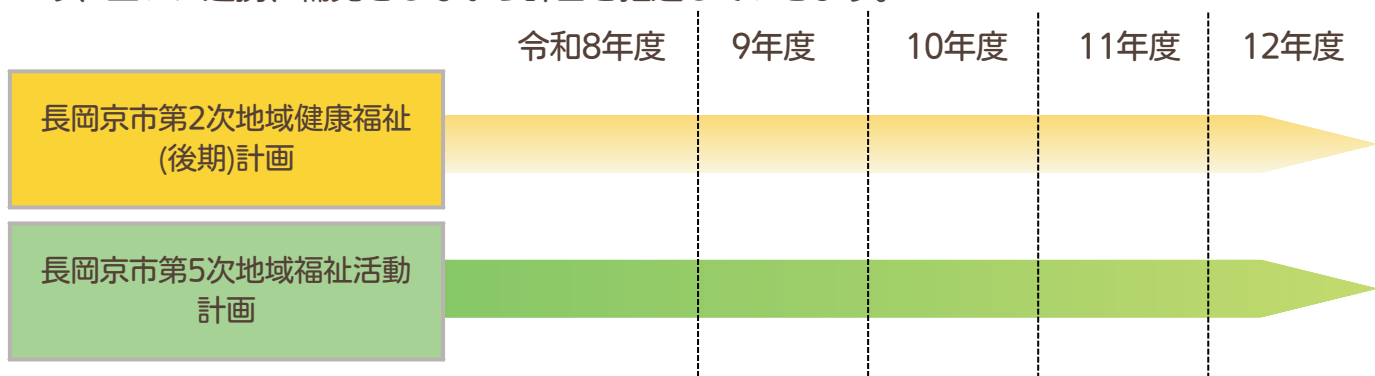
住民と行政の協働による地域福祉の推進

一体的な取り組みによる地域福祉の推進力強化



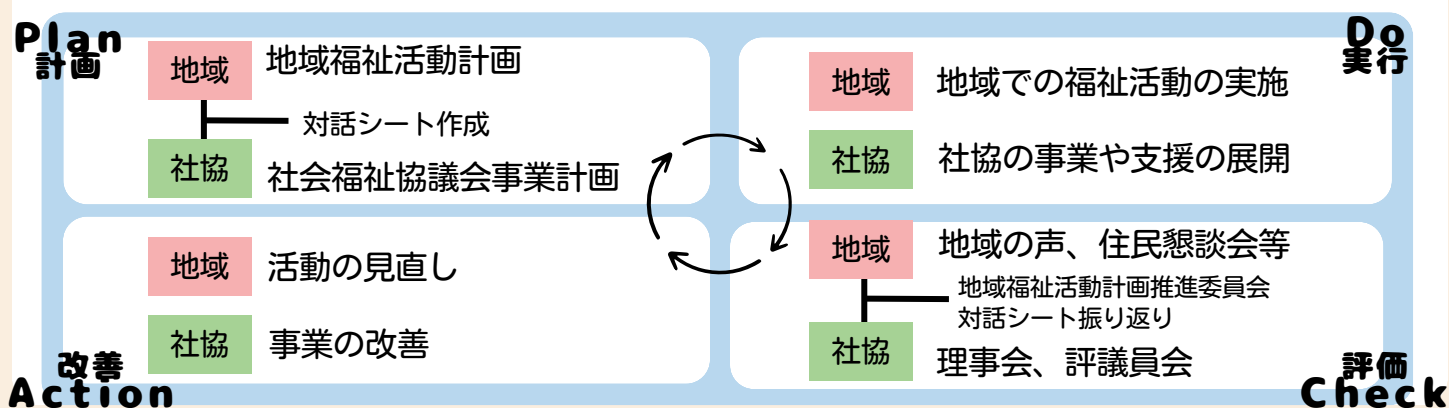
[計画の期間]

本計画の期間は、令和8(2026)年度から令和12(2030)年度までの5年間を計画期間とします。この期間は、長岡京市地域健康福祉計画の後期計画の5年間と同じ期間であり、互いに連携、補完をしながら計画を推進していきます。



[計画進行管理]

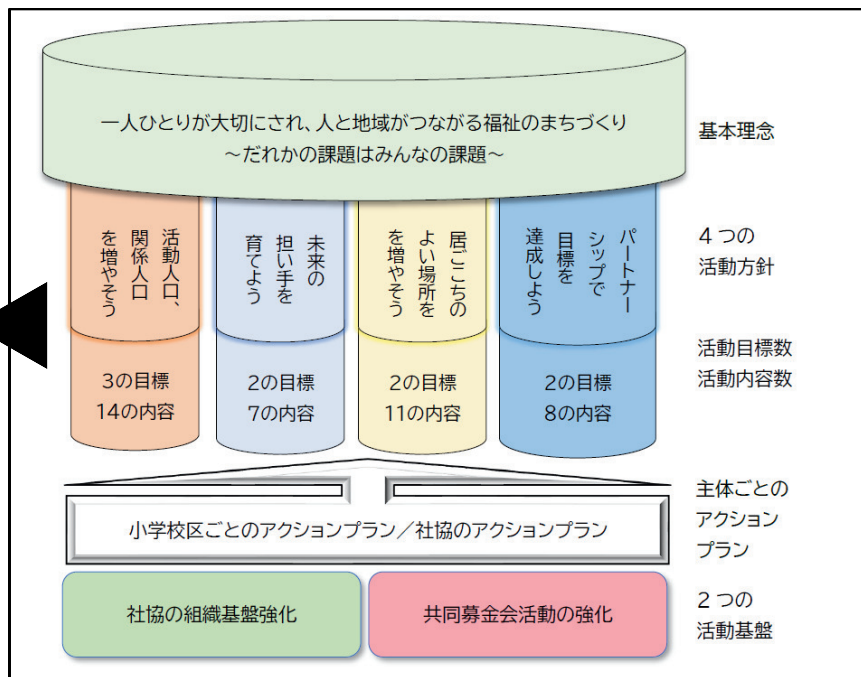
本計画は、地域住民等といっしょに進めていく計画です。多くの方に計画を知っていただき、活動や事業を展開していきます。評価については、社協と地域住民等との対話シートを用いた評価と地域福祉活動計画推進委員会で評価を行います。



3.第4次地域福祉活動計画の分析と評価

第4次地域福祉活動計画（以下、「第4次計画」）は、令和3年度～令和7年度の5年間の計画です。

「一人ひとりが大切にされ、人と地域がつながる福祉のまちづくり～だれかの課題はみんなの課題～」を基本理念に掲げました。それを実現するために、4つの活動方針、9つの活動目標を作りました。



長岡京市第4次地域福祉活動計画【小学校区のアクションチェック表】

一人ひとりが大切にされ、人と地域がつながる福祉のまちづくり
～だれかの課題はみんなの課題～

長岡京市第4次地域福祉活動計画においては、上記の理念を達成するために、行う地域福祉活動の主体者を地域住民等とし、長岡京市社会福祉協議会はその支援を行う者とします。

また、地域福祉活動の活性化を図る『活動方針』は長岡京市全体で共通する趣旨や課題によって4つ、さらに、活動方針を達成するための手段・段階・目印となる『活動目標』は9つ掲げています。

このアクションチェック表は、皆さんの取り組んでいる地域福祉活動が、どの活動目標にどのくらい近づいているのかを把握するためのものです。また、同じチェック表を市全体で毎年利用することで、小学校区や年度で活動への取り組みに差があるのについて把握することができます。

結果をご提供いただき、回答にご協力くださいますようお願いいたします。

チェックの方法
次のページから始まる活動目標ごとの項目について
あてはまる、そういえる、できている場合 → としてください
あてはまらない、そうはいえない、できていない場合 → としてください
活動と一致しない、該当しない場合 → のまま、何も記入しないでください

- 回答者のお名前:
- 回答者のご連絡先:
- 所属の活動団体名:
- 活動への主な参加者
(全世代/子ども・親子/高齢者/障がい者/その他:)
- 活動のタイプ
(地域:自治会などエリアがある / テーマ:防災など特定の課題がある)
- 活動している地域(主に 小学校区)

この活動方針・活動目標については、「アクションチェック表」をもとに、市内各団体がどの活動目標にどのくらい近づいたかを毎年確認しています。この「アクションチェック表」から得たデータは、「地域福祉活動計画推進委員会」で、委員のみなさんのさまざまな意見を聴きながら、この計画の進み具合や、市の福祉課題を共有しました。

総括 >>>

この第4次計画は、コロナ禍で策定し、計画期間の前半はコロナによる地域活動への影響がありました。このため、計画の周知や推進が不十分だったと考えています。また、第4次計画の進捗をはかるめやすとしていた「アクションチェック表」は、書き方がわかりにくい、点数がつけにくい、といった意見が多く寄せられました。これらのことから、第5次計画は、市民のみなさんにも知ってもらい、いっしょに取り組んでもらえるような内容にしたい、と考えました。

1. 計画の体系図

基本理念

一人ひとりが大切にされ、人とのつながりをつなぐ課題はみんなの課題

目標



活動人口・関係人口を増やそう



居ごこちのよい場所を増やそう



未来の担い手を育てよう



つながりの輪をつくろう

やってみることの第一歩

活動の魅力をまわりの人たちに伝えよう

一人ひとりができることに参加しよう

“好きなこと”を地域で活かそう

自分らしくいられる居場所を見つけよう

気軽に集まれる場所を大切にしよう

地域の“拠点”を“居場所”にしよう

福祉を学び、次世代を地域で育もう

地域活動に幅広い世代の意見を取り入れよう

次世代に渡しやすいバトンを考えよう

その人らしいつながりを大切にしよう

デジタルも活用して、幅広い世代の人がつながろう

いろんなつながりで地域の活動を考えてみよう

長岡京市で
住んでいる、働いている、学んでいる...
わたしは...

- 地域に**関心**を持ち、**あいさつ**から**顔見知り**を増やす
- 地域の活動に積極的に**参加**し、**おせっかい**でも知り合いに声をかけてみる

- 住んでいる**家**など**以外**の**居場所**を地域の中で探してみる
- 居場所づくりに、**無理**なく**ボランティア**などで協力する

- 学校の登下校など、地域の**こども**の**見守り**を試してみる
- 活動が**引き継げる**ように、自分のしてきたことを伝える

- 外に出て、地域の活動の**輪**に入ってみる
- 自分がつながった人々をつなぐ**架け橋**になるようにする

長岡京市の
自治会、企業、教育機関、活動団体、ボランティア団体などの
わたしたちは...

- 運営も**楽しみ**ながら、地域住民がつながるような**イベント**をする
- 団体や組織の力を活かし、**地域**に**貢献**できる活動をやってみる

- **身近**な自治会館などを活用して、**立ち寄り**やすい居場所を考える
- 運営も参加者も**みんな**で**考える**居場所を意識してみる

- 地域の活動を大人だけでなく**子ども**と**一緒に**考えてみる
- 任せきりの活動から、**みんな**で**一緒に**考える機会をつくる

- SNS等を活用して活動**見える化**、**発信**して、多くの人とつながる
- 地域の様々な団体や組織と、**手**を取り**合える**ところを探して、**力**を**借り**てみる

社会福祉協議会は...

- 地域の困りごとなどのニーズの把握を重点的に行い、活動につなぐ
- ボランティア活動・サポーター制度の充実等、住民の力が発揮できる多様な活動を推進する

- 住民主体の居場所づくりを推進するため、調査や地域への働きかけを行う
- 居場所づくりに活用できる助成金の財源確保（社協会員会費、共同募金など）

- 子どもたちが福祉を学べる機会を提供し、地域の福祉に関心を持つきっかけづくりをする
- 地域福祉活動の継続や継承について、活動者と一緒に考える

- 社会福祉法人、企業等と社協が協働して地域課題を解決する。
- 多様な世代、多様な人にデジタルを活用した積極的に情報を発信する

※「住民の対話ワークショップ」(P17参照) で出たキーワードを強調表示しています。



目標①

活動人口・関係人口を増やそう

やってみること
の第一歩

- 活動の魅力をまわりの人たちに伝えよう
- 一人ひとりができることに参加しよう
- “好きなこと”を地域で活かそう

みんなの声




地域でどんな活動があるのかわからない。

自分が参加して良い活動かわからなかった。

もっと情報発信しないと、気づいてくれないと思う。

会員の高齢化もあり、関わってくれる人が減っている。

たとえば...

<p>わたしは...</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に関心を持ち、あいさつから顔見知りを増やす ・地域の活動に積極的に参加し、おせっかいでも知り合いに声をかけてみる
<p>わたしたちは...</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営も楽しみながら、地域住民がつながるようなイベントをする ・団体や組織の力を活かし、地域に貢献できる活動をやってみる
<p>社協は...</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の困りごとなどのニーズの把握を重点的に行い、活動につなぐ ・ボランティア活動・サポーター制度の充実等、住民の力が発揮できる多様な活動を推進する



ふれまち八条が丘

高齢者や小学生などが一緒に、横断的なつながりづくりや多世代交流をしています。サロン活動や季節ごとのイベントを実施して、地域の福祉活動の仲間づくりにぐんぐん取り組んでいます。



目標②

居ここのよい場所を増やそう

やってみること
の第一歩

- 自分らしくいられる居場所を見つけよう
- 気軽に集まれる場所を大切にしよう
- 地域の“拠点”を“居場所”にしよう

みんなの声

自治会館をもっと活用したい。

用がなくてもふらっと立ち寄れる場があれば。

多世代が集まることができる場所や機会が少ない。

参加したくなる雰囲気って大切だと思う。

わたしは...



- ・住んでいる家など以外の居場所を地域の中で探してみる
- ・居場所づくりに、無理なくボランティアなどで協力する

わたしたちは...



- ・身近な自治会館などを活用して、立ち寄りやすい居場所を考える
- ・運営も参加者もみんなで作る居場所を意識してみる

社協は...



- ・住民主体の居場所づくりを推進するため、調査や地域への働きかけを行う
- ・居場所づくりに活用できる助成金の財源確保（社協会員会費、共同募金など）



親子のひろば「ひなたぼっこ」

「縁側から日が差して、ぼかぼかと穏やかな気持ちになれる場所が活動にぴったりと思って。ひなたぼっこの名前の由来です」子育てに悩む人に、より密接に関わりたいという想いで始めた居場所です。



目標③

未来の担い手を育てよう

やってみること
の第一歩

- 福祉を学び、次世代を地域で育もう
- 地域活動に幅広い年代の意見を取り入れよう
- 次世代に渡しやすいバトンを考えよう

みんなの声




すすんで地域活動に参加する姿を子どもに見せた。

地域の良さをたくさん次の世代に伝えたい。

自治会の活動にも、子どもたちの意見を取り入れたい。

未来も大事だが、次の役員も見つからない。

たとえば...

<p>わたしは...</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 学校の登下校など、地域のこどもの見守りをしてみる • 活動が引き継げるように、自分のしてきたことを伝える
<p>わたしたちは...</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の活動を大人だけじゃなく、子どもと一緒に考えてみる • 任せきりの活動から、みんなで一緒に考える機会をつくる
<p>社協は...</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもたちが福祉を学べる機会を提供し、地域の福祉に関心を持つきっかけづくりをする • 地域福祉活動の継続や継承について、活動者と一緒に考える



民生児童委員の子どもの見守り活動

子どもたちが地域で安心して過ごすことができるように、身近で地域の福祉を担う活動のひとつとして「通学路での見守り」を実施しています。によきによき成長する子ども達を優しく見守っています。



目標④

つながりの輪をつくろう

やってみること
の第一歩

- その人らしいつながりを大切にしよう
- デジタルも活用して幅広い世代の人がつながろう
- いろんなつながりで地域の活動を考えてみよう

みんなの声




一人でも多く挨拶
やおしゃべりを続
けたい。

相談できる
ところや人
が少ない。

ICTも活用したつ
ながりづくりはで
きないだろうか。

独りにさせない
声かけを意識し
ている。

たとえば...

<p>わたしは...</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・外に出て、地域の活動の輪に入ってみる ・自分がつながった人たちをつなぐ架け橋になるようにする
<p>わたしたちは...</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等を活用して活動を見える化、発信して、多くの人とつながる ・地域の様々な団体や組織と、手を取り合えるところを探して、力を借りてみる
<p>社協は...</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人、企業等と社協が協働して地域課題を解決する ・多様な世代、多様な人にデジタルを活用し積極的に情報を発信する



ドコモショップ長岡京店の地域とのつながりづくり

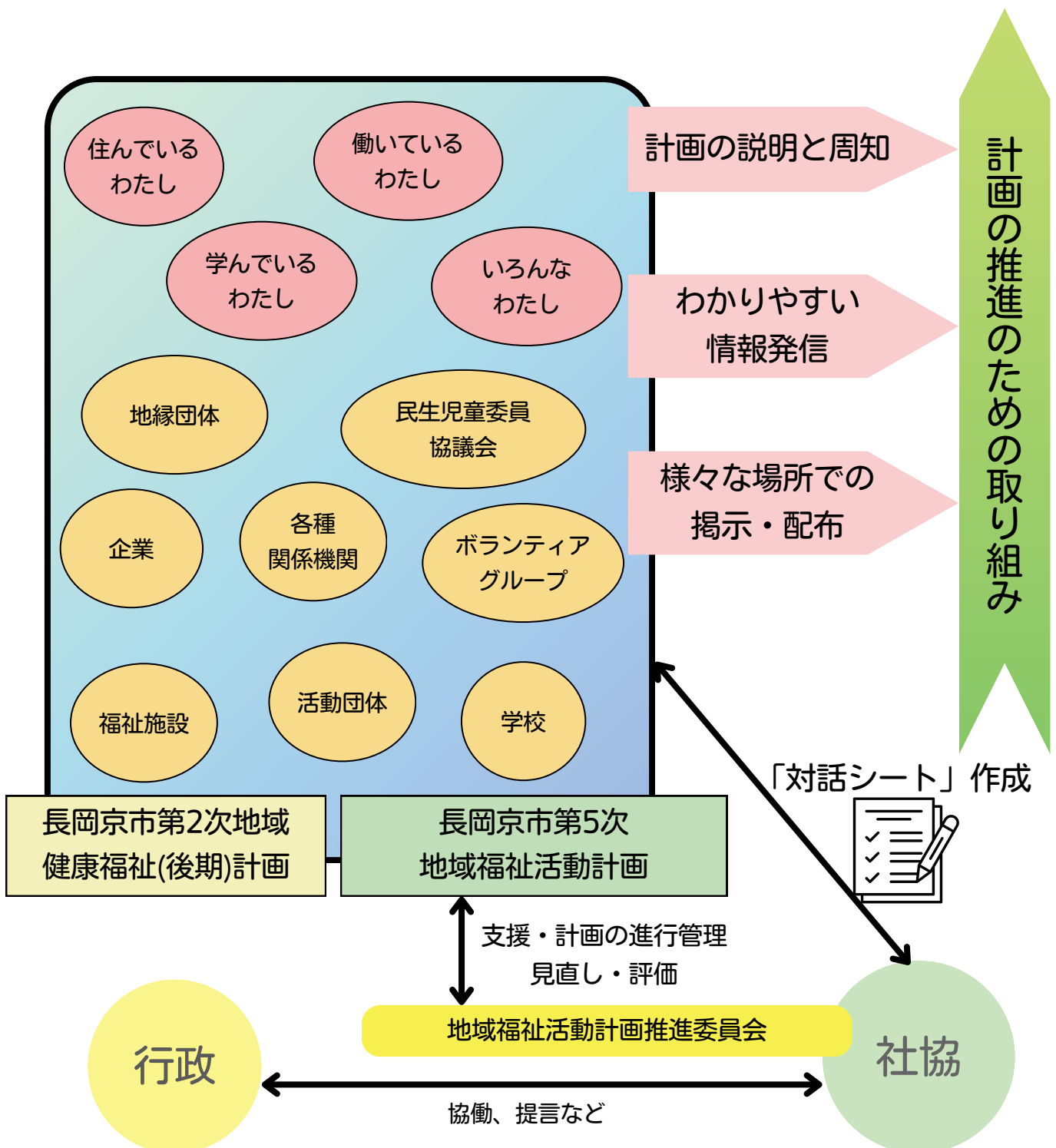
通信インフラなど培われた力を活かし、社会貢献活動として、地域の福祉活動にネットワーク通信ができるよう、モバイルWi-Fiの貸し出し事業をしています。デジタルの力でぎゅっとつながりづくりをサポートしています。

1.計画を推進していくための取り組み

基本理念の「一人ひとりが大切にされ、人と地域がつながる福祉のまちづくり」は、地域住民一人ひとりが主人公となり、実践していくことが重要です。

地域住民や関係機関・団体など、行政、社協がお互いの役割を理解し、下の図に示した計画の推進に取り組みます。

特に、社協と各活動主体の協働は本計画の要です。「対話シート」を用いて、計画に基づいた活動を共に考えます。



2.対話シート (作成例)

団体名：ながおか元気クラブ

【こんな地域だったらいいな】

気軽に集まれる場所が
地域にある。

【関連する目標を 〇 で囲む】



目標を達成するために
心配なこと、困っていること

- 参加者が固定化している
- 運営が高齢化している
-

わたしたちの
大切にしたいこと、強み

- これからも続けたい
- 長く続けてきた
-

あんなことやってみたい、こんなことやってみた

やってみたいこと

- こどもと交流する企画をする
- 活動のお知らせを配る

できたこと

- 子ども会と合同のクリスマス会
ができた
- サロンの活動を回覧板で知らせた

【わたしたちは…わたしたちの地域は…こう変わった】

こども会の方からクリスマス以外の行事も合同でしたいと声をかけてくれるよう
になったり、サロンがきっかけで自治会に加入してくれた人もいた。

【社会福祉協議会の関わり】

- 他の多世代交流をしている地域活動の情報提供
- 定期的な訪問での確認や相談



- 振り返りの期間については対話シート作成時に活動主体と社協とで話し合いの上、定めます。
- 評価については、振り返り時に目標が達成できたか、活動によってどのような地域に変化があったのかの視点で振り返ります。

3.社会福祉協議会の役割

社協は、本計画を推進していくことに加え、社協内の様々な組織の力や専門性を活かした取り組みや事業を実施することが求められています。ひとりの困りごと、みんなで受けとめ支え合えるような地域を目指し、地域のみんなと「話し合い」、地域福祉活動の推進の「はたらきかけ」を行い、社協自身も福祉事業や活動を「行っていきます」。

地域福祉をみんなで推進

地域住民のみなさんと一緒に社協も取り組みます！

社協も福祉活動を

行います

<暮らしを支える>

- 断らない相談
- 地域包括支援センター
- 日常生活自立支援事業
- 生活福祉資金貸付
- 福祉サービスの提供 など

地域のみんなと

話し合います



地域や社会に

はたらきかけます

<地域の福祉活動を元気に>

- ボランティアセンター
- 災害ボランティアセンター
- 生活支援コーディネーター
(中学校区単位)
- きずなコーディネーター
(小学校区単位) など

わたしの暮らし

わたしが暮らしている
地域



社協の基盤強化

4.計画を推進する基盤強化

地域みんなが安心してくらするようになるためには、地域で行われているさまざまな福祉活動を元気にしていくことが大切です。福祉活動を応援する方法には、活動に参加することや、参加できなくても、寄付という形で支える方法があります。地域福祉を進めていくための大切な土台です。この計画では、その土台をより強くしていくことを目指しています。

1)会員会費・寄付・共同募金の強化



○**会員会費**とは… 長岡京市社会福祉協議会の事業を応援することです。

第5次地域福祉活動計画を推進するにあたって、会員会費を使用します。

- 一般会費（個人） 1口 500円
- 特別会員（個人） 1口 5,000円
- 法人賛助会員（企業・団体） 1口 10,000円
- ※それぞれ1口より受け付けています。
- 個人、法人とも口数に制限はありません。



○**寄付**とは… 自分の意思で金銭や物品などを無償で提供する行為です。

お金だけでなく、物品なども含まれます。

（なお、物品等の寄贈については事前にご相談ください。）

税制上の優遇（寄付金控除）が受けられる場合もあります。

○**共同募金**とは… 市民のみなさんで行う運動（取り組み）です。



活動することで、町が良くなることを実感しながら、さらに町を良くする課題のために、助け合いの気持ちで募金を集める。そうした循環のしくみになっています。



《詳しくは二次元バーコードを参照》



5. 計画策定の体制と地域福祉活動計画推進委員会について

計画を改定するにあたり、内容や計画の推進を図るための取り組みについて検討をする機関として、市民、関係団体、学識経験者等で構成する「長岡京市地域福祉活動計画推進委員会」を設置し、計画の策定から計画進捗の評価などを行います。

	選出	氏名
社会福祉協議会理事・ 評議員	理事・自治会長会	八木 仁美
	理事・民生児童委員協議会	○福増 久美子 ○山下 省三（令和8 年2月12日から）
	評議員・身体障がい者団体連 合会	三好 俊昭
市内における地域福祉 活動の実践者、市内に 拠点を置く地域福祉活 動団体または当事者団 体に属する者	災害ボランティアセンター運 営委員会	中塚 啓介
	フードバンク長岡京	長谷川 英毅
	子ども食堂「きらり」	今井 里香
	やすらぎクラブ長岡京	藤井 昇二
	森ノ下（未組織地域）	山本 治
市内に拠点を置く NPO法人または社会 福祉法人に所属する者	NPO法人てくてく	尾瀬 順次
学識経験者	同志社大学社会学部	◎永田 祐
オブザーバー	長岡京市地域福祉連携室	田端 聖恵
	京都府社会福祉協議会 地域 福祉・ボランティア振興課	神戸 望

◎：委員長 ○：副委員長

任期:令和7年7月4日～令和9年3月31日

1. 数字で見る長岡京市の地域福祉

人々が生活をしていくうえで生じ得る生活課題は近年、「複雑化、複合化」しています。またこのように多様化する生活課題に加えて、地域のつながりの希薄化も課題となっています。ここでは、そんな地域の福祉活動と社協に関連する情報の一部を掲載しています。

掲載している内容は令和6年度における情報です。

自治会

自治会数	56	自治会
加入世帯数	15,847	世帯
自治会加入率	45	%

小地域福祉活動

ふれあい・いきいきサロン	22	箇所
ふれあいのまちづくり	9	箇所
ひとり暮らし高齢者の会	20	箇所

活動登録者数

ボランティア団体数	49	団体
個人ボランティア数	25	人
地域お助けサポーター数	101	人

地域活動マップ みーっけ！長岡京 登録数

高齢者	218	箇所
障がい児・者	2	箇所
子ども・子育て	18	箇所
どなたでも	24	箇所

2. 住民の対話ワークショップの報告

計画の策定にあたり、あらためて住民の意見を聴く場として「住民の対話ワークショップ」を実施しました。ワークショップでは、第4次の計画の振り返りを中心に、地域の5年後を想像しながら自分たちができることを話し合いました。



住民の対話ワークショップとは

地域福祉のまちづくりに関する市の計画(地域健康福祉計画)及び社協の計画(地域福祉活動計画)の策定にあたり、小学校区ごとに地域住民の皆様にお集まりいただき、地域福祉をめぐる課題について学び合い、ともに考える場を創りました。

コロナ禍以降、人と人の「つながり」がますます希薄化し、孤独や孤立の問題が深刻になっています。近所づきあいや、地域活動への興味関心も低下し、自治会への加入人数も減っています。住み慣れた地域で、その人らしく生活を続けるためには、住民同士のつながり、助け合いが必要となります。



中学校区ごとにワークショップを実施した記録を社協のホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

長岡京市社協



ホームページは
こちらから





長岡京市第5次

地域福祉活動計画

令和8年度～令和12年度

【発行】社会福祉法人 長岡京市社会福祉協議会

〒617-0832 京都府長岡京市東神足2丁目15-2

【電話】075-955-5601 【FAX】075-952-2597

【ホームページ】<https://www.nagaokakyo-shakyo.jp/>